

4) 糖尿病調査

透析患者の高齢化、一般住民の生活習慣の変化により、原疾患が糖尿病性腎症でない患者にも糖尿病を併発、あるいは糖尿病の既往のある患者が増加している。糖尿病の併発・既往は、心臓血管病、その他の様々な疾患の発症危険因子として知られている。そこで、本年度以降、糖尿病の既往の有無を基本的な調査項目の一つとして加えることにより、糖尿病性腎症以外にも潜在的に糖尿病という危険因子を保持する患者を確認できるようにした。尚、糖尿病の既往とは、過去に糖尿病と診断されたことがある患者と同時に、現在糖尿病による治療を受けている患者が含まれる。

(1) 糖尿病既往患者について (図表44)

